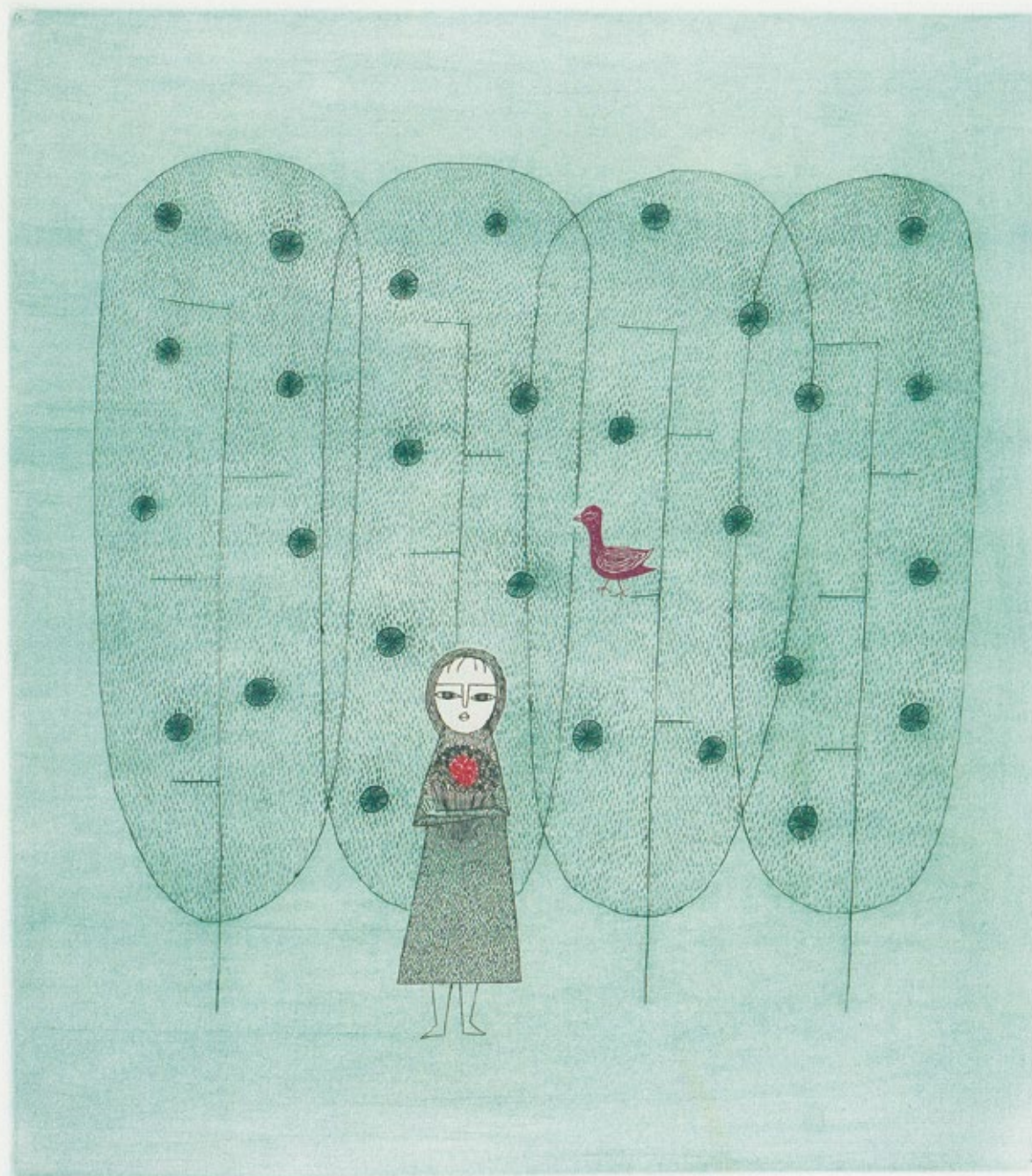


# 南桂子展 風のあわいに

小川イチの作品と共に

2016年  
5月21日(土) — 8月7日(日)



「林と少女」 南桂子 1985年 銅版画、紙 32.5×28.3cm



「春滴」 小川イチ 1988年 油彩、キャンパス 90.9×116.7cm

## ミュゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌火曜休館)

入館料 大人600円 大学・高校生400円 中学生以下無料

開館時間 11:00~17:00(土日祝10:00~/最終入館16:30)

◎ナイトミュージアム開催

会期中第1・3金曜日(6/3、6/17、7/1、7/15、8/5)は、  
20:00まで開館/最終入館19:30

一抹の寂しさと、どこか懐かしさもあわせもつ独特の銅版画世界を作り出す南桂子(1911-2004)の展覧会です。樹は立ち並び、鳥や少女がたたずみ、果てしなく広がる空。その画面世界の住人たちは、見る人を誘うでもなく、拒むでもなく、ただそこにいるだけ。ある種の無関心さが、かえって私たちを安心させてくれるのかもしれない。

本展では南桂子の銅版画と初期の油彩、約40点とともに、南が画家として歩み始めた頃の友人で、生涯を通して交流のあった、小川イチ(1922-)の油彩、約15点を展示いたします。

南と小川が出会ったのは1940年代後半、戦後の復興期にあたり、女性の画家がまだ少なかった時代です。二人は芸術への期待を大いに抱き、洋画家・森芳雄のアトリエに集い、夢を語り合います。女性画家の育成を担う朱葉会などの団体展へも意欲的に作品を発表し、小川の方は若手の画家として注目されていきます。

その後、南がパリへ渡り、銅版画の道を見出す一方、小川は国内で油彩画と向き合い、90歳を超えた今なお、立軌展に発表しています。めまぐるしく変わる作風の中で一時期は南作品に響くような孤独な情景も描きましたが、80年代以降は主に桜の大樹をモチーフとし、「透けていく風の心境」とも評される作品を描き続けています。

海を隔てても、画家として、友人として、二人の心の交流は続きました。その二人の作品を半世紀近くの時を経た今、同じ空間に展示いたします。それぞれの表現方法で、たゆむことなく憧れや心のよりどころを描き通した、二人の女性画家の凛とした姿勢を、作品を通してご鑑賞いただけたら幸いです。

浜口陽三の銅版画約15点も併せて展示いたします。

event 1

手製本ワークショップ「重ねて物語をつむぐノート」

様々な色や形、質感の紙を組み合わせて、製本の基本技法である「一折中綴じ」でつくるノート。銅版画の版の重なりのように、紙の積層が一つの風景や物語を生み出します。半透明の表紙からは中の紙が透けて見え、飾って楽しむこともできます。

講師\_本間あずさ(製本家/「空想製本屋」店主)

日時\_6/20(月) [A]10:30~13:00

[B]14:00~16:30

参加費\_2300円(入館料・材料費込) 定員\_各回10名

持ち物\_はさみ、カッター、好きな紙(あれば)\*

\*A5サイズまでの好きな紙を綴じること可能です。使用したい紙があればご持参ください。



event 2

寄せ木ワークショップ「天然色のアクセサリー」

南桂子作品に出てくるモチーフを元に、色や形の異なる小さな木片を組み合わせてつくる寄せ木のワークショップ。ブローチ、キーホルダー、ピアスのいずれかを選べます。小学生以下のお子様も歓迎です。(要大人同伴)

講師\_西村真人(木エブランド「BUCHI MOKKOU(ぶちもく)」主宰)

日時\_7/19(火) [A]10:30~12:30

[B]14:30~16:30

参加費\_2800円(入館料・材料費込) 定員\_各回10名

持ち物\_汚れてもよい服装またはエプロン



イベント1・2申込方法\_5/26(木)12:00より電話にて受付開始(先着順)

News

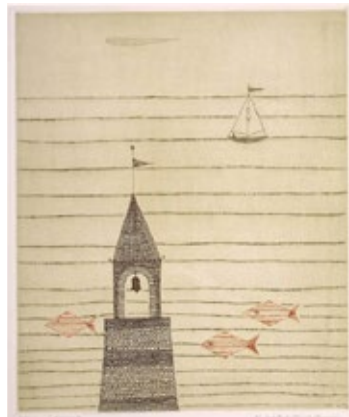
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション編集協力により南桂子の新たな作品集が出版されました。多数の銅版画作品とともに、著名人からのエッセイ、各時代の写真や資料から南桂子の魅力に迫った一冊です。

銅版画家 南桂子 メルヘンの小さな王国へ

平凡社 コロナ・ブックス 編 定価1,700円+税 B5変形版 128頁



「2人の少女」 c.1964年 銅版画、紙 36.9×28.0cm



「鐘つき塔」 1962年 銅版画、紙 34.3×28.2cm

南桂子 MINAMI Keiko

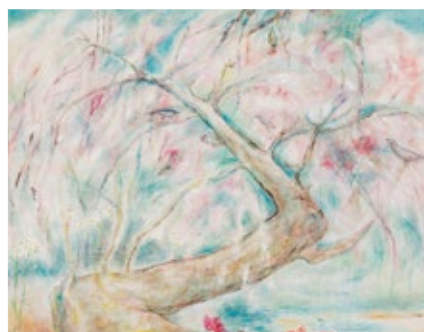


「湖と白い鳥」 1957年 銅版画、紙 34.3×29.2cm



「街と6羽の飛ぶ鳥」 1963年 銅版画、紙 38.0×28.3cm

小川イチ OGAWA Ichi



「濛に咲く」 1993年 油彩、キャンバス 112.1×145.5cm



「所在なく」 1979年 油彩、キャンバス 60.6×50.0cm

小川イチ(1922-) 画家

1922年、北海道月寒生まれ。1943年に太平洋美術学校を卒業。1948年に太平洋画会展で奨励賞受賞。1949年第1回よみうり日本アンデパンダン展出品(〜第5回展)。

この年、南桂子氏の知己を得る。森芳雄先生を知り、以後師と仰ぐ。1950年朱葉会展出品。朱葉会展受賞、会員に推挙される。1957年銀座、村松画廊にて初の個展。立軌会会員となり、立軌展に初出品。以降、今日まで毎回出品。1970年よりフジカワ画廊にて数年に1度個展を開催。



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel|03-3665-0251 Fax|03-3665-0257

Mail|musee@yamasa.com HP|http://www.yamasa.com/musee/

アクセス|東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば

東京メトロ日比谷線「人形町」A2出口徒歩8分

首都高速箱崎1.C[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前

